

採用施設一覧 (◎は基幹施設、○は連携施設)

◎駒込病院

◎多摩総合医療センター

○広尾病院
○大久保病院
○豊島病院
○墨東病院

○多摩北部医療センター
○神経病院
○小児総合医療センター

研修プログラムの特徴

● 駒込病院（基幹施設）

東京都立駒込病院施設群病理専門研修プログラム

プログラム責任者：病理科 比島 恒和 プログラム研修期間：3年

連携施設病院：広尾 / 大久保 / 豊島 / 墨東

東京科学大学病院

本プログラムは、剖検例、生検、手術例の組織診断、術中迅速診断、細胞診などの分野を3年間で研修し、病理専門医受験資格を得ることを目標としています。基幹施設である駒込病院は、がんの専門病院として都道府県がん診療連携拠点病院に指定されていますが、総合基盤に則った医療を実践しているため、がんのみならず非がん例も含めた幅広い症例を経験することが可能です。さらに、3年間のうち都内の中核病院に相当する他の都立病院（墨東病院、広尾病院、豊島病院、大久保病院）をローテーションし、基幹施設にはない多彩な症例を経験することもできます。各施設をまとめると症例は豊富で、専門医受験資格に必要な剖検数も十分確保されています。各施設にはベテランの専門研修指導医が揃っており、カンファレンスの場も多く、病理医として成長していくための環境が整っています。駒込病院では手術材料は未固定の状態で手術室から送られてくるため、検体の処理、肉眼所見の取り方、切り出し、報告書作成まで同一症例で学ぶ機会が多い点も本プログラムの特徴の一つです。診断能力の習得に加え、学会発表や論文作成に関しても指導、支援を行っています。研修期間は3年間を基本としていますが、研修終了後も都立病院で継続して勤務することを条件として、4年間の研修コースも選択可能となっています。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	病理											
	後半から連携施設での剖検にも従事します。											
2年次	病理	病理（連携施設）	病理	病理（連携施設）	病理	病理（連携施設）	病理	病理（連携施設）	病理	病理（連携施設）	病理	病理（連携施設）
	連携施設をローテーションします											
3年次	病理											
	連携施設での剖検にも従事します											

● 多摩総合医療センター（基幹施設）

都立多摩総合医療センター施設群病理科・東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：病理診断科 岡田 晴香 プログラム研修期間：3年

連携施設病院：多摩北 / 神経 / 小児総合

公立昭和病院 / 川崎幸病院 / 東京西徳州会病院

日本における病理専門医数は近年横ばい状態で、増加する臨床からのニーズに十分対応できる状態とは言い難いのが現状です。このような状況を改善するため、本プログラムでは病理学のやりがいと楽しさを満ちた、実務的で魅力的な病理専門プログラムを提供することを目指しています。本プログラムでは、多摩総合医療センター病理科を基幹施設とし、3年間は公立昭和病院、多摩北部医療センター、川崎幸病院、小児総合医療センター、神経病院、東京西徳州会病院の各専門研修連携施設での研修を通して、病理専門医資格の取得を目指します。各施設を合わせると症例数は豊富で、小児、神経など多彩で専門的な領域にも及び、剖検も十分な数を実施しています。指導にあたる研修

指導医や専門医も各施設に揃っています。各種の院内カンファランスも多くあり、病理医として日々研鑽、成長していくための環境が整っています。また、本プログラムでの研修においては、ライフ・ワークバランスも重視しています。充実した病理専門研修を行うのは勿論重要ですが、第一線の病理医として長期にわたって継続的に仕事を行っていくためには、病理以外においても充実した人生を送ることが大切です。そのために病理業務は可能な限り時間内に切り上げ、それ以外の時間を有意義に使えるよう配慮しています。本病理専門研修プログラムに是非参加して、知識のみならず技能や態度にも優れた、次代を担う病理専門医を目指してください。

研修コース
モデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	多摩総合医療センター（週 1 回程度連携施設で研修。） 剖検（C P C 含む）と基本的な病理診断と細胞診への従事、関連法規や医療安全に関する知識習得を主な目的とする。											
2 年次	多摩総合医療センター（週 1 回程度連携施設で研修。） 剖検（C P C 含む）とやや専門的な病理診断及び基本的な細胞診への従事を主な目的とする。											
3 年次	多摩総合医療センター（週 1 回程度連携施設で研修。） 多摩総合での研修を基本とし、連携施設で週 1 回の研修を行う。剖検（C P C 含む）と専門的な病理診断及び専門的な細胞診への従事を主な目的とする。この年次までに専門医試験受験資格として必要な講習会を受講完了する。死体解剖資格を取得する。											



(駒込病院 病理指導風景)